

臨床研究に関する情報の公開

当センターでは「日本人ターナー症候群における腎泌尿器合併症と eGFR（推定糸球体濾過量）を用いた腎機能の検討」の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去および今後の検査結果をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 日本人ターナー症候群における腎泌尿器合併症と eGFR（推定糸球体濾過量）を用いた腎機能の検討

【研究機関】 当センターを含むターナー症候群の診療に携わる複数の有志の医療機関（代表：新潟大学小児科）

【研究責任者】 代表責任者： 新潟大学小児科講師 長崎啓祐

当センター責任者：群馬県立小児医療センター内分泌代謝科部長 井垣純子

【研究の背景】 ターナー症候群では馬蹄腎、重複尿管などの腎尿路奇形、高血圧など腎疾患が合併します。成人ターナー症候群では、腎奇形、血管・血圧の異常によって腎機能障害を生じうるとされていますが、腎機能に関する自然歴や予後については十分明らかになっていません。

【研究の目的】 腎泌尿器合併症と腎機能に関しての検討を行うことを目的としています。

【研究の方法】

1. 対象となる患者様

当院に通院歴のある 2～18 歳のターナー症候群の方です。

2. 方法

年齢、核型、身体所見、成長ホルモン使用の有無、腎機能に関連する因子として、腎機能検査（血液、尿検査）、腎泌尿器奇形、尿路感染症の既往、膀胱尿管逆流の有無などをカルテ情報から集めます。その情報を中央施設である新潟大学小児科に送付し、解析を行います。

使用する検査結果は日常の診療の範囲で行っている腎臓エコー、血液・尿検査です。

3. 期間

2018 年 3 月 31 までを予定しています。

【個人情報の取り扱い】

この研究に参加する研究者が、対象となる患者様の診療内容を知る必要がある場合には、お名前、住所など患者様を直接同定できる個人情報が特定できないようにして閲覧します。また、研究成果が学術目的のために学会や学術雑誌で公表されることがありますが、その場合も個人情報は厳重に守られ、第三者が患者様を特定できるような個人情報は使用しません。

※上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

当センター責任医師 群馬県立小児医療センター内分泌代謝科 井垣純子 TEL: 0279-52-3551

研究代表責任者 新潟大学小児科講師 長崎啓祐 TEL: 025-227-2222